

2025（令和7）年3月13日

各関係機関長 殿

松 山 大 学  
人文学部長 市川 正彦

教員の公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度松山大学人文学部社会学科におきましては、下記の要領で特別任用教育職員を募集することになりました。

つきましては、貴学もしくは貴研究科関係者にご周知いただきますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 募集者の名称 学校法人松山大学
2. 就業場所 愛媛県松山市文京町4番地2 そのほか関連する就業場所
3. 採用予定日 2026（令和8）年4月1日
4. 任用資格 講師 以上
5. 任用期間 雇用期間は採用日から当該年度末までとする。ただし、満年齢70歳に達する日の属する年度を限度に、4回まで更新する場合がある。更新後の雇用期間は4月1日から翌年3月31日までとする。
6. 採用人員 1名
7. 業務内容 教育・研究及びそれらに関連する業務
8. 専攻領域 文化社会学
9. 担当科目 文化社会学に関する科目のほか、応募者の研究分野に関わる科目としてサブカルチャーの社会学に関する科目1科目を担当できること。なお、「基礎演習」、「社会学文献講読」などについても担当する。
10. 担当時間 1週当たり7.5時間（5コマ）
11. 応募資格 2026（令和8）年4月1日の時点で、以下のいずれかの条件を満たす者
  - （1）博士後期課程単位修得者、または赴任までに取得が見込まれる者
  - （2）博士前期（修士）課程を修了し、1年の助教歴を有する者
  - （3）大学の学部を卒業し、研究上の業績及び教育上の能力があると認められる者
  - （4）前各号と同等の資格があると認められる者※採用後は松山市内または近隣に居住することが可能である者
12. 待遇等
  - （1）勤務形態 専門業務型裁量労働制（個別の同意に基づく）  
1日あたり7.5時間働いたものとみなされます。
  - （2）給 与 講 師（年俸）5,040,000円

准教授（年俸）5,280,000円

教授（年俸）5,520,000円

※それぞれ、年俸の12分の1の額を月割りにて支給する  
手当 扶養手当（年金受給者の被扶養者は除く）、住宅手当、  
通勤手当及び講義超過手当を支給する。

退職金 支給しない。

(3) 研究費 松山大学教員研究費規程に基づき支給する。

教員研究費Ⅰ(定額部分)及び教員研究費Ⅱ(成果連動部分)、  
発表旅費、各種研究助成あり

(4) 休日 土・日、国民の祝日、開学記念日、年末年始、夏季一斉休暇

※ただし、本学の授業日程により勤務日とすることがある。

(5) 加入保険 年金・健康保険（私学事業団）、雇用保険、労災保険

(6) 雇用形態 特別教育任用職員

(7) 受動喫煙防止措置の状況 敷地内全面禁煙

### 13. 提出書類

(1) 履歴書(所定の書式をダウンロードして使用すること)

(2) 教育研究業績一覧(所定の書式をダウンロードして使用すること)

(3) 最終学校修了（卒業）証明書または修了見込み証明書。

博士後期課程在学者は在学証明書も添付すること。博士号取得者は、学位記の写し。

(4) 主要研究業績3編以内(コピー可)

他の業績同様、(2)の概要欄を記入した上で、それぞれに1,000字以内の要約を付すこと。必要に応じて、その他の業績の提出を求めることがある。

(5) 「文化社会学」に関する科目のシラバス（所定の書式をダウンロードして使用すること）

(6) 応募者の研究分野に関わる科目としてサブカルチャーの社会学に関する科目1科目のシラバス（所定の書式をダウンロードして使用すること）

(7) 本学における教育への抱負を1,500字程度で述べたもの。

※所定の書式はJREC-IN当該ページの「添付書類」欄より入手すること。

※シラバスは科目名のほか「1.サブタイトル」～「12.学習の到達目標」のうち、「2.関連する教育方針」と「6.アクティブラーニング要素」を除き必須とする。なお「4.授業形態」は「対面授業」とすること。また、「5.授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度」は、文化社会学に関する科目、応募者の研究分野に関わる科目としてサブカルチャーの社会学に関する科目のどちらも、全30回で作成すること。

※(3)以外はA4用紙（縦置き横書き）で作成すること。

※人物照会が可能な方の氏名、所属、および連絡先(電話番号、可能であればメールアドレス)

レス) (書式自由)がある方が望ましい。

※指導教授またはそれに相当する方の推薦書を添付しても良い。

14. 募集及び書類提出期限 2025 (令和7) 年5月30日 (金) 必着

15. 書類提出先

〒 790-8578 愛媛県松山市文京町4-2

松山大学 人文学部長 市川 正彦 宛

\* 『『文化社会学』応募書類』と封筒に朱書し、書留で下記へ郵送すること

16. 選考方法

書類審査の上、面接等を行う (模擬授業を求めることがある)。

なお、本学で面接を行う場合は面接に際しての旅費・宿泊費等は応募者の負担とする。

17. 選考結果の通知

選考手続きの終了次第(8月予定)、本人に直接通知する。

18. その他

提出された書類については選考のみに使用し、それ以外の目的には一切使用しない。

提出書類は原則として返却しない(ただし、業績の実物の返却を希望する場合には、住所・氏名を明記した返信用封筒及び必要な送料の切手が貼付してある場合にのみ返却する)。

19. 問い合わせ

松山大学 教務部教務課 人文学部担当 安永 亜希子

問い合わせはE-mailに限る (mu-kyomu@matsuyama-u. jp)

以上